

# 地域の木材資源を活かすために一域内循環の創出

令和3年度地域政策研究センター 地域協働研究【ステージI】 採択課題

課題名：地域の森林資源を活かした林産業・再生可能エネルギー利用の展望—地域に仕事を生み出すSDGs—

研究代表者：総合政策学部・泉 桂子

課題提案者：一戸町総務部まちづくり課・(株)柴田産業

研究メンバー：渋谷晃太郎(総合政策学部)・野崎貞春・古舘航太(一戸町)・柴田君也(株)柴田産業

技術キーワード：森林資源・熱利用・木質バイオマス

## 背景

- 再生可能エネルギーは脱炭素社会のカギ
- 本県は、再エネポテンシャルに恵まれる
- 国内：再エネへの評価はますます高まる
- 付加価値のあるエネルギーをいかに生み出し、利用するか？

エネルギー自給+木質バイオマス

## 目的

- 森林所有者の森林経営マインド把握
- 木質バイオ燃料流通における課題抽出
- 地元企業の存在意義の確立と再エネに関心の高い町民同士のネットワーク

## 方法

- 林業・木材産業の現状調査  
森林所有者・畜産業者に聞き取り調査・県内木材産業に関する文献調査
- SDGsと地域に注目したワークショップの開催  
カードゲーム体験や講演会、見学会と組み合わせ

## 聞き取り調査結果

- 森林所有者：A氏(63歳)
  - 施業委託は収入になるなら許容
  - 主伐後再造林は自己負担なしなら可能
  - 地域単位の薪生産に関心

| 森林(ha) | 箇所数(箇所) | 林相                                       | 資源利用      | 技術研修の場      |
|--------|---------|--|-----------|-------------|
| 24     | 4       | スギ(6割)<br>アカマツ(2割)<br>カラマツ(僅少)<br>雑木(2割) | 薪採取(ストーブ) | 里山管理NPO(盛岡) |

- 畜産法人経営者：B氏
  - 経営規模は預託を含め330~340頭
  - 敷料は秋田の業者から外材おが粉を購入
  - 搾乳機械等洗浄用に湯が必要→熱需要あり
  - 畜舎の県産・町産材使用はコスト面で困難



## 今後の展開

町の取り組みが林野庁「地域内エコシステム」モデル構築事業に採択

|                                  | 日時           | 場所                  | 参加者(人)          | 講師   |
|----------------------------------|--------------|---------------------|-----------------|--|
| 植林体験会<br>御所野縄文電力<br>見学会          | 21年10月30日(土) | 国有林(岩手町)<br>御所野縄文電力 | 20              | 高橋直樹(地域おこし協力隊)<br>松尾亨(三八上北森林管理署)<br>田口重男(御所野縄文電力)    |
| SDGs<br>カードゲーム体験会                | 22年1月16日(日)  | 一戸町<br>コミュニティセンター   | 11              | 渋谷晃太郎<br>高橋直樹  |
| 「地域資源を活かした<br>持続可能なまちづくりに向けて」講演会 | 22年3月19日(土)  | 萬代館                 | 対面30<br>オンライン10 | 小寺徹(CSV開発機構)<br>小林靖尚(会津森林活用機構)<br>日當和孝(久慈バイオマスエネルギー) |